

# イントラリンクス、世界最大級のディールソーシング／マッチングネットワークを日本市場で本格展開

2014年8月7日（木）

イントラリンクス、世界最大級のディールソーシング／マッチングネットワーク  
“イントラリンクス ディールネクサス”を日本市場で本格展開

企業間の機密情報共有およびコラボレーション・ソリューションをクラウドベースで提供する大手グローバルプロバイダー、イントラリンクスホールディングス（Intralinks (R) Holdings, Inc.）（NYSE: IL）の日本法人イントラリンクス合同会社（東京都千代田区、代表：村岡聡）は、本日付で世界最大級のディールソーシング／マッチングネットワーク「イントラリンクス ディールネクサス（Intralinks DealNexus (TM)）」を日本市場にリリースすることを発表しました。

本リリースの背景には、北米およびヨーロッパで昨年9月よりサービスを開始しているイントラリンクス

ディールネクサス・プラットフォームでの同市場での実績があります。昨年度比で、同プラットフォームを利用しているディールメーカーの数が大幅に増加、登録されたアクティブなM&A案件は総件数で99%増、平均取引額で約30%増を記録しています。すでに、5,000社を超える欧米のプライベート・エクイティ、事業会社、投資銀行、および投資アドバイザーが、ディールの起案、マーケティング、ソーシングのために定常的に同サービスを利用しています。

イントラリンクス

ディールネクサスは厳選されたメンバーオンリーのためのプラットフォームであり、高度なセキュリティとインテリジェントなマッチング・アルゴリズムを備えています。ファイナンシャルアドバイザーは今発生しているセルサイドのディール案件をマーケティングするのに対して、買い手側は固有の買収基準を極めて正確にかつ秘密裏にアップロードすることができます。買い手側は、買収基準を満たす適切な案件に対して自動的に警告通知されます。この一方で、ファイナンシャルアドバイザーは入札者候補リストを数秒で生成してディールを市場へ出すことができます。このすべてのプロセスが、専用のモバイルアプリを使うことで、オフィスにいても、また外出中でも、どこからでも可能となります。

厳しい競争が繰り広げられる M&A

の世界では、このテクノロジーのメリットは明らかです。買い手側は、要件を満たさない案件を検討するために無駄な時間と労力を費やす必要がなくなります。さらなるメリットとして、売り手と買い手の両サイドがボーダーレスな24時間止まらない環境を手に入れることができ、これまでの人脈ネットワークを超えてディールマッチングを成立させる案件の範囲を広げることが可能になります。

ディールネクサスの伸びは1千万米ドルから5億米ドルのディールを市場に出している売り手側のミドルマーケットアドバイザー企業および投資銀行によって牽引されてきています。イントラリンクス合同会社代表の村岡は、ディールネクサスを日本企業へ向けて本格展開するにあたって、次のようにコメントしています。「レバレッジド・バイアウト、マネジメント・バイアウト、大規模/小規模資本再構成、

債権/株式による資金調達、増資などの異なる資産カテゴリで 사용할 ことができるため、ディールチームは最大の売り手ネットワークへ広範にマーケティングを仕掛け、最適な候補を厳選してターゲティングすることを可能にする強力な武器を手に入れることができます。」

0vum社のシニアアナリストである Rik

Turner (リック・ターナー)氏は、ソーシャル・ディールメイキングは一過性の流行ではないとコメントしています。イントラリンクスで発行された最新のホワイトペーパー「Changing the M&A

Game : オンライン・ディールソーシングが起こすM&A業界の変革」の中で、同氏は、「オンライン・ディールソーシングは将来、主要なディール調達と、市場にディールをオファーする方法となるでしょう。業界に新規参入する企業は、オンライン・ディールソーシングを標準手法として取り入れることでしょう」と述べています。

ソーシャル・ディールメイキングについて

ソーシャル・ディールメイキングによってディールのやり方が変わったということは明らかです。国内または世界中の別の場所にいる、これまでに会ったことのない相手同士が、オンライン・ディールソーシングを活用して、迅速かつ容易につながることが可能になったのです。売り手と買い手の候補を探し出す時間を短縮すると同時に、M&Aのディールサイクルのすべてのフェーズを合理化することによって、M&A取引時間を大幅に短縮することが可能です。

昨年、イントラリンクス

ディールネクサスのディールプロフィール登録件数が倍増しています。イントラリンクス本社の発表によると、同プラットフォームに登録されたアクティブなM&A案件が、昨年度実績比において、総件数で99%増、平均取引額で約30%増を記録しています。また、イントラリンクスディールネクサスのディール総件数が、現状の運用実績から見て、2014年で再び倍増すると予測しています。

イントラリンクス ディールネクサスの詳細 :

次のURLを参照してください。

<http://www.intralinks.com/products/intralinks-dealnexus> (英文)

イントラリンクスについて :

イントラリンクス(NYSE:

IL)は、企業間の機密情報共有およびコラボレーション・ソリューションのグローバルプロバイダーです。イントラリンクスのクラウドベースのソリューションは、企業のファイアウォールの外で実行される企業間の安全かつ法規制に従った機密情報の交換、共有、管理を実現します。イントラリンクスのソリューションはすでに「フォーチュン1,000 企業」の99%において270万人を超えるビジネスプロフェッショナルに利用されており、イントラリンクスのクラウドベースのソリューションを通して、これまでに23.5兆米ドルを超える企業買収や合併、企業提携などの大規模取引を成立させています。詳細はweb サイト (www.intralinks.com) をご参照ください。

【製品およびサービスについてのお問い合わせ】

イントラリンクス 日本オフィス

東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー15F

Email: [japan@intralinks.com](mailto:japan@intralinks.com)

【報道機関からのお問い合わせ（広報代行）】

(株) エム・アンド・エル 福島邦夫 Tel: 090-2210-4991

Email: [kunio.fukushima@mlrev.co.jp](mailto:kunio.fukushima@mlrev.co.jp)

またはPRクエスト(株) 菊池泰功

Tel: 03-5365-2760

#### 将来予想に関する記述

本プレスリリースに含まれる将来を予測する記述は1995年の米国私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に基づいて作成されています。将来を予測する記述は、歴史的な情報に基づかない明示的または黙示的な記述であり、その他に、イントラリンクスの計画、意向、期待、予測、希望、信念、目標、目的および戦略に関する記述を含みます。本記述は約束または保証ではなく、様々なリスクまたは不確定要素による影響を受けることがあります。その多くは、イントラリンクスのコントロールの範囲を超えるものであり、この将来を予測する記述の期待事項から実質的に異なる結果を引き起こす原因となる可能性があります。これに基づいて、いかなる将来を予測する記述によって表明された、予測されたまたは暗示された結果が達成されることを保証するものではありません。また、読者は、いかなる将来を予測する記述も全面的に依拠しないことを警告されています。本プレスリリースに含まれる将来を予測する記述は、あくまでも本プレスリリースの発行日現在での予測を述べています。しかるが故に、イントラリンクスは、新情報の結果、将来の出来事または状況、または他の事由のいかんを問わず、本プレスリリースに含まれる情報を更新または改訂する義務を一切負うものではありません。イントラリンクスの業績結果に影響する可能性のある要因およびリスクの詳細なリストに関しては、会計年度末の

[2013年12月31日](#) 付のForm 10-

Kの当社の年次報告を含む、米国証券取引委員会へ提出した公開書類を適時参照してください。

#### 商標および著作権について

「Intralinks」、イントラリンクスのロゴマークおよびDealNexusは、Intralinks, Inc. の商標登録です。本プレスリリースでは、登録商標であるかの確認をすることなく、他社の会社名および商標を参照することがあります。(c) 2014 Intralinks, Inc. All rights reserved

---

Generated by ぷれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>